

1 世界の姿①

教科書 p. 6 ~ 11

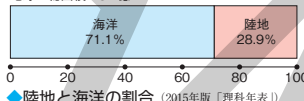
1 地球の姿を見てみよう

(1) 六大陸と三大洋…地球上には**海洋**と**陸地** ◆六大陸と三大洋

があり、地表のおよそ7割が海洋、3割が陸地である。

① **海洋**…太平洋、大西洋、インド洋の**三大洋**と、日本海や地中海など三大洋に付属した小さな海からなる。広さは、太平洋、大西洋、インド洋の順。

② **陸地**…ユーラシア大陸、アフリカ大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、オーストラリア大陸、南極大陸の**六大陸**と、多くの島々からなる。北半球に陸地が多い。

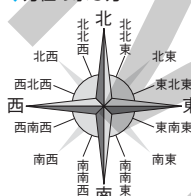
地球の総面積 5.1億km²

2 地球儀と世界地図を比べてみよう

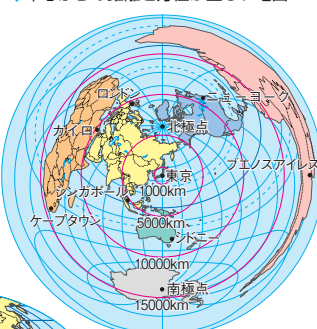
(1) 地球儀と世界地図の特徴

- ① **地球儀**…地球を縮めたもの。地球をほぼ正確に表している。また、大陸や島の形、位置だけでなく、地球が少しかたむいていることも表している。世界全体を一度に見ることはできず、持ち歩くのに不便である。
- ② **世界地図**…地球儀の欠点をおこなうものとしてつくられてきたが、地球は球体であるため、平面の地図に**距離**、**面積**、**方位**、形などをすべて正確にえがくことはできない。目的に合わせたさまざまな地図がある。

◆方位の示し方



◆中心からの距離と方位が正しい地図



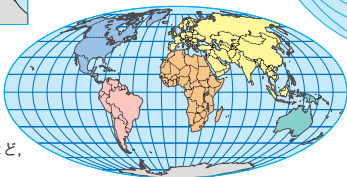
▲中心から以外は正しく表されない。

◆緯線と経線が直角に交った地図



▲赤道からはなれるほど、実際よりも面積が大きく示される。

◆面積が正しい地図

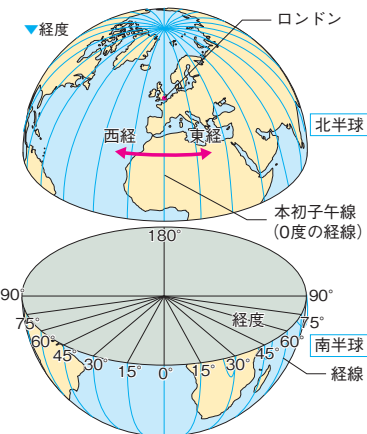
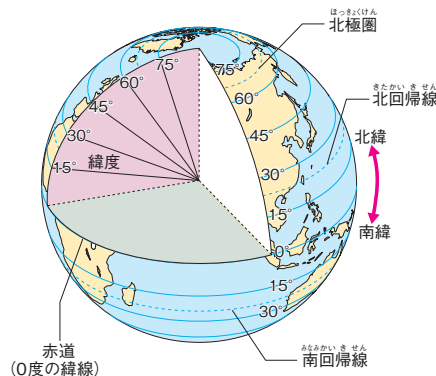


▶赤道からはなれるほど、形がゆがむ。

3 地球上の位置を表そう

◆緯度と経度

▼緯度

(1) **緯度と経度**…地球上の位置は、**緯度**と**経度**で示すことができる。

- ① **緯度**…赤道を0度として、南北をそれぞれ90度に分けたもの。赤道より北を**北緯**、南を**南緯**といい、「北緯40度」のように数える。同じ緯度を結んだ、赤道に平行な線を**緯線**という。
- ② **経度**…イギリスの首都ロンドンにかつてあったグリニッジ天文台を通る**本初子午線**を0度として、東西をそれぞれ180度に分けたもの。本初子午線より東を**東経**、西を**西経**といい、「東経140度」のように数える。同じ経度を結び北極と南極を結んだ線を**経線**という。

③ **緯度と経度で位置を表す**…東京の位置を緯度と経度で表すと、およそ北緯36度、東経140度となる。

<おもな都市のおよその緯度、経度>

- ・ニューヨーク：北緯41度、西経74度
- ・ブエノスアイレス：南緯35度、西経58度
- ・ベキン：北緯40度、東経116度
- ・カイロ：北緯30度、東経31度
- ・シドニー：南緯34度、東経151度

(2) **緯度のちがいと気温の変化**…緯度の高いところと低いところで気温が異なるのは、それぞれの地点で受け取る太陽のエネルギーの量がちがうため。低緯度ほど気温が上がる。

- ① **太陽の光 (エネルギー)**…太陽の光は地球に同じばで届く。
- ② **緯度によって気温が異なる理由**…地球は球形のため、低緯度地域と比べて高緯度地域では同じ地表面積で受け取る太陽のエネルギーが少なくなるため。
- ③ **白夜**…高緯度地域では、夏に太陽がしずまない時期があり、この時期のうす明るい状態を**白夜**という。冬には逆に、太陽がのぼらない時期もある。

◆緯度による太陽のエネルギーを受け取る量のちがい

